**特許専門講座初級コース（英訳）　サンプル**

　この課では、前課で触れた「**米国出願様式**」について学習します。アメリカに直接出願したり、**パリルート**で出願したりする場合には、この様式で明細書を記載する必要があります。クライアントから「米国出願様式」で英訳するように指示されますので、この様式を知らないと、どのように英訳して納品するかがわからず、歯がたちませんし、特許明細書を１つの文書として把握することができません。

**米国出願様式明細書の様式**

　米国に直接出願したり、パリルートで出願したりする際、米国出願様式の明細書（SpecificationまたはDescription）と図面（Drawings）を提出する必要があります。

　図面は、発明を実施できるように説明するので具体的に表現したものを画像データで記載しますが、特許翻訳においては、図面の画像データを直接作業することはほとんどありません。大抵の場合、図面に記載されている英語を翻訳するように指示されます。詳しくは、後の課で学習します。

＜＜　以下省略　＞＞

**【サンプル課題】**

次の和文を米国出願様式で英訳し、MS-Word形式ファイルで事務局答案係に提出してください。尚、フォントはCourier New　１２ポイントにすること。

【技術分野】
【０００１】
本発明は、スルー画像の表示を行うデジタルカメラに関し、特に表示部が着脱可能に構成されたデジタルカメラに関する。
【背景技術】
【０００２】
デジタルカメラでは、一般に撮影画像やスルー画像を表示するためのモニタを備える。このようなカメラの中には、モニタをヒンジ等の回転機構を介してカメラ本体に対して回転可能としたものもある。また更に、カメラ本体に対してモニタを着脱自在にしたデジタルカメラも提案されている（特許文献１参照）。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２０００－２６１６９７号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
例えば特許文献１に記載のデジタルカメラでは、モニタをカメラ本体から取り外した状態でもカメラのスルー画像や撮影されたビデオ画像をモニタに表示できることが望ましい。しかしデータ転送に利用できる無線帯域では、転送可能なデータ量が制限されるためこのような動画のモニタ表示は実質的に行えない。

＜実際は１～３ページ（課ごとにより異なる）＞